

病院長と看護部長にインタビュー

久留米大学医療センター
病院長

大川 孝浩



私は「特色ある医療」という言葉をよく用います。久留米大学には大学病院と医療センターの2つがありますが、まったく同じことをしては特色がありません。例えば整形外科なら、医療センターは関節にかかわることをすべて受け持ち、大学病院はそれ以外の部門を受け持っています。このように大学病院と機能分化をすることで、特色のある医療を目指しています。

また、医療センターは特に「地域に根付いた病院」という機能を重要視しています。医療の世界はプロフェッショナルの集まりではありますが、人を相手とする仕事です。私は「心が通い信頼される医療」という医療センターの理念のもと、プロである前にまず人としてしっかりと患者と向き合った接し方ができる医療が重要だと考えています。

久留米大学医療センター
看護部長

大塚 まり子



久留米大学医療センターは令和元年創立25周年を迎えました。来院された方々が「緑が多く良い環境で、建物も素晴らしいですね」とお褒めの言葉をいただきます。外来玄関では、ボランティアの方が患者さんを優しく出迎え、職員は患者さんが心地よい療養生活を送れるようホスピタリィマナーの向上に努めています。

また、2018年度から久留米大学文学部情報社会学科江藤教授と学生達が、医療者とは違う視点から本院の課題解決を行っています。車椅子を使用される方の「思いやりスペース」はそのひとつです。専門性、人間性を高め、多様性を持ち医療センターは更なる発展を目指します。

MAP



〒839-0863 福岡県久留米市国分町155-1
TEL 0942-22-6111 (代表)

診療科・部門一覧
はコチラ ▶



外来担当医一覧
はコチラ ▶



院内マップ
はコチラ ▶



久留米大学文学部情報社会学科
ほとめきプロジェクト

発行日: 2020年3月26日
編集責任: 石川 尚弥、尾澤 知夏、森田 絵里加(3回生)
発行: 久留米大学文学部情報社会学科
久留米市御井町1635 江藤研究室
Tel.0942-43-4411(代)
印刷: 城島印刷
福岡市中央区白金2-9-6



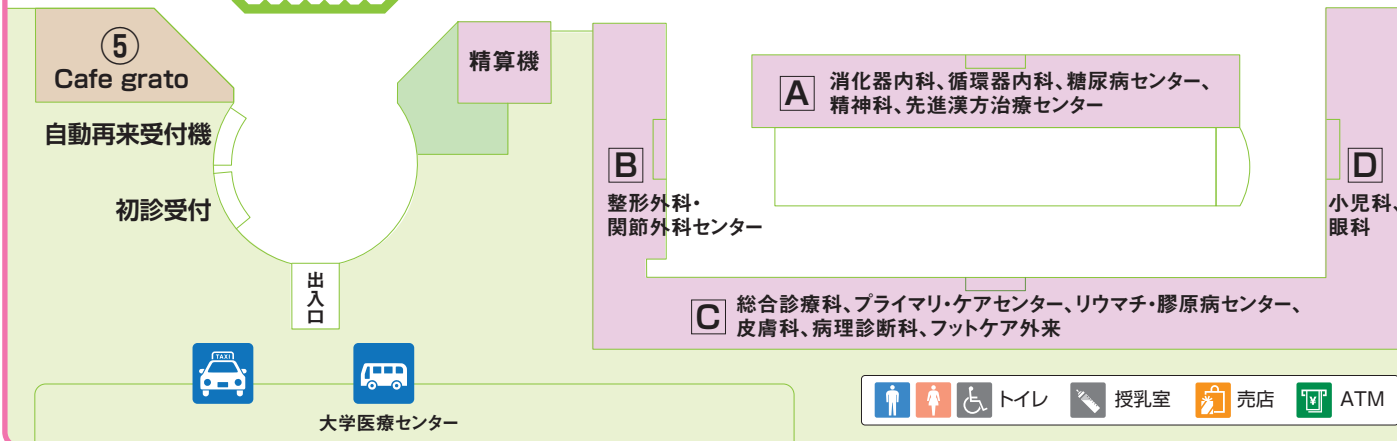
久留米大学 Kurume University Medical Center 医療センター



久留米大学医療センター
KURUME UNIVERSITY MEDICAL CENTER

久留米大学医療センター 院内MAP

◀1Fリハビリテーションセンター



③画像センター(CT・MRI)

放射線や磁気を利用した検査を行っています。一般撮影検査、透視検査、骨塩定量検査、CT検査、MRI検査、心臓カテーテル・血管造影検査などの高度な画像診断と医療情報を提供しています。

検査でご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。



④医療相談室

患者さんと家族の方からの医療や介護など様々な相談に対し、看護師と医療ソーシャルワーカーが問題解決のお手伝いをしています。相談室は落ち着いた雰囲気、医療や介護保険に関する情報も展示しています。お電話での相談も受け付けています。



⑤Cafe grato

Café GRATO(カフェ グラート)は、総合受付の左側、休憩室の中にあります。お弁当と手作りパンは日替わりです。メニューも豊富で、その日の気分で様々なお食事を楽しむことができます。

朝食を取らずに検査や採血を受けられた後に飲食される際は休憩室をご利用ください。



⑥売店

お弁当、飲料、パン、スイーツなど美味しいオリジナル商品が揃っています。その他、医療用品や衣類など入院に必要なものを豊富に揃えています。また、久留米大学グッズやチルドレンアートの文具品などもあります。



ボランティア

受診手続きのお手伝いや車椅子での移動が必要な患者さんのお手伝いをしています。アリスマークの黄色いエプロンをしています。お気軽にお声がけください。



①総合受付

初診受付、入退院受付、会計受付、お見舞いの方へのご案内などの窓口業務を行っており、待ち時間短縮、患者さんの立場にたったあたたかい接遇を心がけています。



②中央処置室

各診療科からの採血や点滴、医療処置を行っています。休めるベッドもありますので、体調不良の方はお気軽にお声がけください。

